

# 健全財政で 将来に夢があるまちづくり

平成21年第1回長島町議会定例会で川添健町長が述べた「施政方針」の概要をお知らせします。

「夢と活力があり 福祉の充実した長島町」を政策目標に掲げ、新長島町長に就任し、3年が経過しました。

夢づくりについては、三県架橋、獅子島架橋の実現に向けて関係団体と連携を図りながら、着実に要望を続けています。特色のあるまちづくりとして、石積みと花のロードづくりで、町民の期待を集めつつあります。

活力については、農業、漁業の一次産業はもとより、観光との一体感を図るため諸施策が進みつつあります。公共事業も雇用確保と都市との格差是正の見地から積極的に取り組んできましたが、今ようやく国でもその重要性に気づき、対策が図られようとしており、本町の施策に確信を深めているところです。

福祉については、住民と行政がキャッチボールできる距離の、小さくてもキラリと光る福祉の充実を目指してきましたが、福祉事務所が拠点となってその効果を発揮しつつあります。

平成21年度は、その1期4年の集大成の年であり、新生長島町の礎の安定化を図る年と位置づけ

ています。

合併以来、旧両町間の融和と、地域間格差の解消を念頭に、議会の皆さまとともに議論し、協力をいただきながら施策を展開してきたところです。

平成20年度には、「世界ブリサミット」や「おさかな祭り」を盛大に開催することができました。長島の食材の豊富さとすばらしさを県内外、そして世界へ情報発信したところです。「おさかな祭り」は隔年開催している「ながしま造形美術展」と並び長島の代名詞となるイベントとして期待を持った次第です。

また、平成19年4月から県の権限移譲による福祉事務所の業務開始により、きめ細やかな福祉行政を進めているところで、なかでも民生委員の活動と連携した「としび隊」は、高齢者の自宅へ出向き、さまざまな相談活動を行うなど、お年寄りの安全確保や生活不安解消、都市部の親族との情報交換等、まさしくきめ細やかな福祉施策を進めているところです。

合併時に統一できなかった大きな懸案事項として、国民健康保険税の均一課税がありました。平

成19年度中に、長島町国民健康保険税審議会を3回開催し、慎重審議により、平成20年度から安定した移行ができたと考えています。

学校等の規模・配置のあり方検討委員会も平成19年度に3回、平成20年度に3回開催され、慎重な検討と審議を経て、本年2月17日付けで答申を得たところです。小・中学校、幼稚園の適正規模、適正配置を進めるうえで、子どもたち一人ひとりにより一層豊かな環境の中で教育を受けさせるとともに、町民の期待に応える新しい時代にふさわしい学校づくりが望まれるところです。

さらには、生活基盤、産業基盤の整備においてもほぼ計画どおりの進捗となっています。ふるさと景観づくりのシンボルとして実施している石積みの回廊づくりでは、川床小学校、長島中学校、長島町開発総合センターなど、長島ならではの自然石の石垣が甦りました。「ぐるっと一周フラワールード事業」は、この1年で約30の花壇が新設され、既存の花壇とあわせると50力所以上の花壇が事業所、各種団体および個人のボランティアにより管理されるなど、

住民参加型の行政が着実に進展していると認識しています。

## フル・デュー・プランに基づき総力挙げる

平成21年度、国の地方財政計画では、経済財政運営と構造改革に関する基本方針「2006」等に基づく改革を継続し、徹底した歳出の抑制に努力するとしながらも、経済金融情勢の変化に果敢な対応を図るため、一般会計予算を過去最大の88兆5480億円、前年度比6・6%の伸びを見込んでいます。地方交付税は、地方に配分される15兆8200億円と将来的に交付税で償還する臨時財政対策債5兆1500億円を含めて、実質的には20兆9700億円で、前年度に比べて2兆7300億円の増加となっています。このうち1兆円の地方交付税は、5000億円分を地域雇用創出推進費として特に雇用情勢の厳しい地域に配分し、残り5000億円は一般行政経費、公債費の拡充など、「地方の元氣回復」の財源に見込んでいます。国においては、道路特定財源の一般財源化、地方道路整備臨時交